

目次

□巻頭言 大型プロジェクト推進の機運 福井 迪彦 / 1

21世紀への建設産業ビジョン 吉野 洋一 / 3
 ——活力ある挑戦的な産業を目指して——

港湾技術開発の長期展望 寺内 潔 / 8

我が国の海洋開発の動向 岡村 健二 / 13

首都高速道路高速湾岸線 3期・4期の計画 新家 紀六 / 17

阪神高速道路湾岸線 河野 富夫 / 22
 安治川橋梁工事の概要 中 林 正 司

泊原子力発電所工事の機械設備 金子 勝之 / 28

大水深防波堤建設工事用 中 川 英 毅 / 35
 捨石ならし機の開発実験

□随 想 海と母 藤 岡 知 夫 / 42

七ヶ宿ダムにおけるベルトコンベヤ工法 寺 山 勝 二 / 44
 によるコンクリート打設 深 中 堀 哲 男

仙台高速鉄道愛宕橋工区の 岡 田 昇 三 / 50
 自走シールド工法による施工 森 川 修

昭和60年度 除雪機械展示・実演会見聞記 杉 山 篤 / 58
 ——克雪、利雪で21世紀のスノーピアをひらく——

◀表紙写真説明▶

三菱アーティキュレートダンパ
AD 200

三菱重工業株式会社

AD 200は、20tクラスのアーティキュレート方式のダンプトラックで、大別して構内用、土木用、トンネル用の3仕様があるが、写真は25t積み構内仕用車である。

運転室側と荷台側に分割されたフレーム構造をもち、アーティキュレートフレーム(車体屈折)操向式特有の小回りが利くばかりでなく、両フレーム連結部のオシレーション作用と追従性に富む特殊機構の後輪サスペンションにより、不整地や軟弱地でも確実に路面を捕捉し、すぐれた走破性を発揮する。また、トランスミッションはマイコン制御による全自動式で、高い運搬能率と運転手の疲労軽減を実現している。

本機の販売にあたっては、ユーザの使用条件に対応したきめ細かい仕様設定を行っており、一方、ダム・トンネル・宅造工事向けを中心にシリーズ化が進められている。

◀主な仕様▶

最大積載量.....	25,000 kg
バケット容量(山積).....	18.4 m ³
定格出力.....	303 PS/2,200 rpm
最高速度.....	48 km/hr
最小回転半径(車体最外側).....	8,500 mm
車重重量.....	22,500 kg

グラビア——昭和60年度除雪機械展示*実演会(秋田)

低騒音型建設機械の指定 建設省建設経済局建設機械課 / 63
 昭和60年度第2回分

□新工法紹介

ブッシュアップ工法/自昇式ジャンピング型枠 調査部会 / 67
 工法/サイロ自動ライニングシステム

□新機種ニュース 調査部会 / 70

□文献調査

大口径杭の支持力増大のための新工法/
 エアードーム式エビ養殖場の建設 文献調査委員会 / 75

□ISO規格紹介

土工機械に関するISO標準規格(12) I S O 部会 / 78

□整備技術

建設機械メカトロニクスの整備(第7回)
 発電機モニタおよび全自動並列運転装置 整備部会 / 81

□統計

建設工事受注額・建設機械受注額の推移 調査部会 / 84

行事一覧 / 85

編集後記 (天野・福来) / 88